



戸田 秀雄氏

新会長に戸田秀雄氏 ソースタギング普及へ実証実験を開始 「平成26年度通常総会」開催

日本万引防止システム協会

日本万引防止システム協会(東京都新宿区、TEL 03・33355505・5522)は、

東京・新宿区の主婦会館プラザエフで「平成26年度通常総会」を開催。

新会長に戸田秀雄氏(高千穂交野、副会長に松本剛氏(チエックポイントシステムジャパン)が就任人事議案などを承認した。また、欧米で万引き防止ソリューションとして普及しているソースタギングを日本チェーン

ンドラッグストア協会と取り組むことなどが報告された。

開会にあたり、山村秀彦会長が挨拶。万引犯罪の情勢に触れ、刑法犯認知件数がピーク時の半減する中、全刑法犯認知件数の約10%を占める一方で平成22年をピークに減少傾向が明確化、65歳以上の高齢者の犯罪が少年

を上回る社会問題化、組織的に海外で不法販売ルート構築する業者が国内の闇業者とネットを介し、万引きさせた商品を転売して被害が多額に及んでいるといった現状を踏まえ、「このように万引犯罪の状況が大きく変化している現状を見ますと、万引きは小売業の収益管理という側面だけでなく、地域の高齢者を含む安全安心なまちづくりや教育場面の青少年の健全育成など社会的側面での万引きを起させない取り組みが、最近グローバル化が進んでいる日本社会でも必要」と語った。

また、J.E.A.S.の昨年度事業トピックスとして、万引き防止システムの使用実態調査で防犯効果が明確化した点、映像解析技術を活用したシステム、メタルバッグなどを使った大量万引きを捕捉できるシステムの技術開発が進行、E.A.S.の技術面での標準化を進めている点が紹介された。

その後、平成25年度事業報告、収支決算、会費継続、平成26年度組織人事、平成26年度事業計画、収支予算の順で議案が提出され承認された。人事については新たに戸田氏と松本氏が理事となり、戸田会長、松本副会長、三宅正光副会長(留任)の体制となった。

委員会は総務、政策・研究に加えて、技術標準委員会を設置。J.E.A.S.のプロジェクトであるソースタギング推進委員会(三宅委員長(副会長)から、J.E.A.S.と日本チエンドラッグストア協会が連携して、ソースタギングを進めることが報告された。

年内に実証実験をスタートする。欧米ではソースタギング3割以上進んでいるが、国内では進んでいないのが実情。だが、J.E.A.S.では、家電量販店なども視野に入れ、今年ソースタギング元年として普及を進める方針。

意見交換会では、戸田新会長が挨拶。お客さまは防犯システムを購入することが目的ではなく、安全で快適で環境の良いお店、商店街を作りたい、同時にもう一方ではロス

を限りなく減少させたいと強い願いの下、その目的を達成するための1つの手段として、システムをご購入頂いている訳です。当協会としても現在の犯罪情勢、犯罪特性にマッチした新しいシステムの開発、サービスに力を注いでいかなければならない」と語った。